日本共産党新潟県議会議員
遠藤れい子ひまわりレポート
【部内資料】
№110　2021年7月18日
長岡市神田町3－1－3
電話 32-1741　fax 32-6443

6月県議会…遠藤れい子県議、花角知事に質問―6月29日連合委員会の報告（下）

変化した県央基幹病院計画➡住民に説明を

「3次救急の受け入れをしない」計画
住民の認識と大きな乖離に不満や批判、不安

質問準備をする遠藤県議

【遠藤れい子議員】
県は平成30年に、「県央基幹病院整備基本計画」（平成28年）の住民説明会を1回行ったが、以降実施されていない。
現時点での計画は「基本計画」から大きく変化しており、住民の認識と乖離が生じているため、不満や批判、不安も広がっている。あらためて、現時点での県央基幹病院の整備の方針について、住民説明会を実施するとともに、住民からの意見を聴取して整備の方針に反映すべきと考える。

【花角知事】
県央基幹病院の機能等、医療提供体制の整備にあたっては、地域住民の理解と協力が大変重要であることから、今後、住民に分かりやすく説明し、様々な議論を受け止めたうえで、医療提供体制の整備を進めていく。出来るだけ早期に実施していきたい。

【遠藤れい子議員】
県央基幹病院の機能が「3次救急は診ない」と当初の計画が変更になっています。医師不足で機能縮小せざるを得ないのが理由です。断らない救急が可能なのか不安です。このままの計画なら現状とどこが違う？住民説明をして声を受け止め　地域医療構想調整会議で住民の声を反映することが出来るようにしていただきたい！

【遠藤れい子議員】
県は国の「病床機能再編支援補助金」を受けて県央医療圏における地域医療提供体制の見直しを進めている。
今後の県央基幹病院の整備の方針や新型感染症の対策をふまえれば、県立吉田・加茂病院の役割強化など病床の維持・拡充を含む抜本的再検討を行なうべきと考える。

【花角知事】
今般の新型コロナウイルス感染症の対応状況を踏まえると、限られた医療資源を効果的に活用しながら、今後の新たな感染症に的確に対応していくためにも、県央地域で議論を重ねてきた県央基幹病院への急性期機能の集約と、地域密着型病院との役割分担と連携を進めていく必要があると考えている。
県立吉田病院、県立加茂病院については、地域密着型病院として機能・規模等を検討しているところであり、引き続き、県央地域医療構想調整会議において具体的に議論してまいりたい。

◆感染拡大止まらない東京！　五輪は中止を！
◆国民の命を守るを第一に、検査・ワクチン・補償の充実を図れ！

糸魚川市の地すべり現地を視察（7月6日）
来海沢地区の復旧・復興の状況

3月4日に糸魚川市来海沢地区に大規模な地滑りが発生しました。幅百メートル、長さ一キロメートル、全壊住宅2棟、半壊1棟、非住家全壊3棟、県道寸断、停電、断水、田畑の被害となりました。幸い人的被害はなかったものの、今も避難状況が続いています。
7月6日、遠藤れい子県議は新潟県災対連の一行と共に視察。来海沢地区区長より、発生時の避難の状況、地すべり現場と復旧工事の進捗状況など説明を受けました。1日も早い復旧が待たれます。

↑復旧工事の対応概要

↑区長の説明を聞く遠藤県議（右）